

2023年度入試変更点一覧 表の見方

※2023年度入試における一般選抜の変更点等を中心に一覧にまとめています。

掲載内容については、今後変更等の可能性があるため、各大学公表の最新情報を大学HP等で必ず確認してください。

二部、夜間制、フレックス制については掲載していません。

◎大学・学部・学科等について

名称については、一部略称を用いています。

新設、改組情報には、設置認可申請中や設置構想中等を含みます。

◎教科名、科目名の表記について

教科・科目のみ記載は必須科目、() は選択教科・科目を表し、→の後ろの数字は選択科目数を示します。

選択科目の変更については、※で表記をしています。

例：国+数+理2+外

国語、数学、理科2科目、外国語が必須ということを表します。

例：外+(国or数or理)→2

外国語が必須、国語、数学、理科から2科目選択ということを表します。

例：数+理+外

※理：物or化or生

理科は物理、化学、生物から1科目選択ということを表します。

例：国+数2+外+(歴公or理・理基2)→2

専門理科1科目または基礎理科2科目のいずれかを選択ということを表します。

◎教科名および科目名の表記について(略称)

○国語⇒「国」 ※出題範囲については記載していません。

○地理歴史・公民⇒「歴公」

地理歴史⇒「歴」

世界史A⇒「世A」、世界史B⇒「世B」

日本史A⇒「日A」、日本史B⇒「日B」

地理A⇒「地理A」、地理B⇒「地理B」

公民⇒「公」

現代社会⇒「現」

倫理⇒「倫」

政治・経済⇒「政」

倫理、政治経済⇒「倫政」

○数学 ※共通テストの数②における「簿記・会計」「情報関係基礎」の変更は記載していません。

数学1科目⇒「数」、数学2科目⇒「数2」

数I、数I・A⇒「数①」、数II、数II・B⇒「数②」

数学A⇒「数A」、数学B⇒「数B」

数学I⇒「数I」、数学II⇒「数II」、数学III⇒「数III」

○理科 ※個別試験の理科は、特記事項がない限り、各科目とも「基礎科目+専門科目」を表すものとします。

理科1科目⇒「理」

理科2科目⇒「理2」

理科・基礎科目⇒「理基」

物理⇒「物」、物理基礎⇒「物基」

化学⇒「化」、化学基礎⇒「化基」

生物⇒「生」、生物基礎⇒「生基」

地学⇒「地学」、地学基礎⇒「地基」

○外国語⇒「外」 ※英語以外の選択科目の変更は記載していません。

英語⇒「英」

○小論文⇒「論」

○面接⇒「面」

○実技⇒「実」

○調査書⇒「調」 ※調査書は点数化される場合のみ記載しています。

○総合問題⇒「総合問題」

2023年度入試 国公立大学医学部医学科 変更点一覧【2022/12/19版】

大学	学部	学科／専攻(方式)	日程	項目	変更点	2023年度入試	2022年度入試
北海道大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	85人	92人
筑波大	医	医(一般枠)	前期	選抜方法	単願から単願または地域枠全国対象との併願を選択	一般枠の単願または地域枠全国対象との併願を選択 [単願]一般枠 [併願]第1志望:一般枠 第2志望:地域枠全国対象 ※併願の場合は2段階選抜を実施しない	一般枠の単願 [単願]一般枠 [併願]なし
		医(地域枠全国対象)	前期	選抜方法	単願から自動的に一般枠との併願へ	自動的に一般枠との併願 [単願]なし [併願]第1志望:地域枠全国対象 第2志望:一般枠	地域枠全国対象の単願 [単願]地域枠全国対象 [併願]なし
東京大	理科三類		前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	約3倍(通過予定人数:約291人)	約3.5倍(通過予定人数:約339人)
東京医科歯科大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	<前>69人、<推>20人	<前>79人、<推>9人
金沢大	医業保健	医	前期	選抜方法	合否判定基準追加	口述試験では勉学意欲と資質、医師としての適性などを判断するための多面的試問を行う。口述試験にて医師の適性を欠くと判断された場合には、学力検査の成績に関わらず不合格となる場合がある	
岐阜大	医	医	前期・後期	選抜方法 募集人員	後期日程廃止 募集人員変更	<前>55人	<前>45人、<後>10人
			前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	約9倍(通過予定人数:約495人)	約15倍(通過予定人数:約675人)
名古屋大	医	医	前期・後期	選抜方法 募集人員	前期日程地域枠新設 後期日程一般枠新設 後期日程地域枠廃止 募集人員変更	<前>(一般枠)85人、(地域枠)5人、<後>(一般枠)5人	<前>(一般枠)90人、<後>(地域枠)5人
			前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	共通テストの合計が900点満点中600点以上の者	共通テストの合計が900点満点中700点以上の者
			後期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	約12倍(通過予定人数:約60人)	共通テストの合計が900点満点中700点以上の者
三重大	医	医	後期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	15倍(通過予定人数:150人)	10倍(通過予定人数:100人)
大阪大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	92人	95人
岡山大	医	医	前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	3倍(通過予定人数:285人)	4倍(通過予定人数:392人)
			前期	募集人員	募集人員変更	95人	98人
広島大	医	医	前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	約5倍(通過予定人数:約450人)	7倍(通過予定人数:630人)
					合否判定基準変更	(1)A(s)配点の上位から募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)またはA(em)配点の上位から募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)に該当する者を合格とする (2)(1)の合格者を除く「B配点」の上位から残りの合格者を決定する	まず「A配点」(理科重視型)を用いて募集人員の1/2(募集人員が奇数の場合は端数を切り上げた人数)の合格者を決定し、次に「B配点」(一般型)を用いて残りの合格者を決定する
				個別	A(em)配点(英数重視型)新規実施	A(s)配点(理科重視型) 数<300>+理2<1,200>+外<300>=総点<1,800> A(em)配点(英数重視型) 数<800>+理2<200>+外<800>=総点<1,800> B配点(一般型) 数<600>+理2<600>+外<600>=総点<1,800>	A配点(理科重視型) 数<300>+理2<1,200>+外<300>=総点<1,800> B配点(一般型) 数<600>+理2<600>+外<600>=総点<1,800>
徳島大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	62人	64人
九州大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	105人	110人
佐賀大	医	医	前期	個別	調の点数化廃止	数<80>+理2<80>+外<80>+面<60>+調=総点<300> ※調の点数化なし	数<80>+理2<80>+外<80>+面<60>+調<100>=総点<400>
			後期	個別	面の配点変更 調の点数化廃止	面<120>+調=総点<120> ※調の点数化なし	面<180>+調<100>=総点<280>
長崎大	医	医	前期	募集人員	募集人員変更	71人	76人
鹿児島大	医	医	後期・推薦	募集人員	募集人員変更	<後>21人、<推>20人	<後>23人、<推>18人
横浜市立大	医	医	前期	選抜方法	第1段階選抜通過基準変更	共通テストの合計が750点以上の者のうちから、募集人員の約3倍(通過予定人数:207人程度) ※750点以上の志願者が207人に満たない場合は、志願者全体の共通テストの得点状況等により、750点未満でも合格となる場合がある	共通テストの合計が750点以上の者のうちから、募集人員の約3倍(通過予定人数:210人程度)
			前期・推薦	募集人員	地域医療枠の募集人員変更	<前>(一般枠)58人、(地域医療枠)9人、 (神奈川県指定診療科枠)2人 <推>(県内地域医療枠)10人、 (県内神奈川県指定診療科枠)2人、 (県外地域医療枠)6人、 (県外神奈川県指定診療科枠)1人	<前>(一般枠)58人、(地域医療枠)10人、 (神奈川県指定診療科枠)2人 <推>(県内地域医療枠)10人、 (県内神奈川県指定診療科枠)2人、 (県外地域医療枠)5人、 (県外神奈川県指定診療科枠)1人
名古屋市立大	医	医	前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	共通テストの合計が550点満点中概ね71%以上の者のうちから、募集人員の約3倍 ※共通テストの得点平均が前年度と同程度の場合実施基準は23/1/20頃にWebで公表	共通テストの合計が550点満点中概ね73%以上 ※共通テストの得点平均が前年度と同程度の場合
和歌山県立医科大学	医	医	前期・推薦	選抜方法 募集人員	県民医療枠を3つに分類 募集人員変更	<前>(一般枠)64人程度、(県民医療枠A)10人程度、(県民医療枠C)2人程度 <推>(一般枠)6人程度、(県民医療枠A)5人程度、(県民医療枠B)3人程度、(地域医療枠)10人 ※県民医療枠A:現行の県民医療枠 県民医療枠B(産科枠):産科の医師を育成する募集枠 県民医療枠C(不足診療科枠):和歌山県内で不足する産科、小児科、精神科の医師を育成する募集枠	<前>(一般枠)64人程度、(県民医療枠)15人程度 <推>(一般枠)6人程度、(県民医療枠)5人程度、(地域医療枠)10人
			前期	選抜方法	第1段階選抜基準変更	共通テストの合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3.4倍(共通テストの中間発表時点の平均点により630点未満でも合格となる場合がある。その場合は出願までに公表)	約3.3倍